

作業療法士は、認知症初期集中支援チームへの参画を明記されています！

認知症初期集中支援チームに作業療法士が関わっていくためにも、是非、本研修会を受講し、「認知症初期集中支援におけるOTの役割」を理解して下さい。

【認知症初期集中支援チームとは】

複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的（おおむね6ヶ月）に行い、自立生活のサポートを行うチームをいう。

配置場所

地域包括支援センター等

診療所、病院
認知症疾患医療センター
市町村の本庁

認知症初期集中支援チームのメンバー



（保健師、看護師、作業療法士、
社会福祉士、介護福祉士等）

【対象者】

40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で以下のいずれかの基準に該当する人とする。

◆医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人

- （ア） 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
- （イ） 継続的な医療サービスを受けていない人
- （ウ） 適切な介護保険サービスに結び付いていない人（エ） 診断されたが介護サービスが中断している人

◆医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している